

2013年度傷害報告 集計結果

一般財団法人 東京都スキ一連盟
総務本部 医事・安全対策委員会

2013年度傷害事故集計表

提出437件 受講者数 5,913名 受傷者数 18名 受傷率 0.30%

設 問	No.	人数	No.	人数	No.	人数	No.	人数	No.	人数	No.	人数	合計		
傷害保険	01	自己傷害保険	2	02	対人賠償	2	03	対人対物賠償	4				22		
					対物賠償	3				自己+対人	4	自己+対人対物		3	
性別	04	男性	9	05	女性	11							20		
年齢	06	6歳未満	0	07	7-12	1	08	13-15	1	09	16-20	1	10	21-25	0
	11	26-30	1	12	31-40	1	13	41-50	5	14	51-60	3	15	61歳以上	7
															20
技術レベル	16	指導者	7	17	上級者	2	18	中級者	7	19	初級者	1	20	初心者	3
体格	21	大きい	2	22	普通	15	23	小さい	3						20
滑走日数	24	0-3	9	25	4-6	3	26	7-10	2	27	11-15	3	28	16-20	2
	29	21-30	0	30	31日以上	1									20
休養	31	充分	17	32	不充分	3									20
準備体操	33	充分	20	34	不充分	0									20
傷害名	35	捻挫	1	36	骨折	6	37	脱臼	1	38	切創	2	39	打撲	5
	40	靭帯損傷	4	41	擦過傷・刺創	2									21
傷害場所	42	前頭部	1	43	後頭部	4	44	顔面	2	45	頸部	3	46	肩部	5
	47	上腕部	1	48	前腕部	0	49	手指部	0	50	胸部	2	51	背部	0
	52	腹部	0	53	腰部	0	54	大腿部	0	55	膝部	4	56	下腿部	3
	57	足首	1	58	その他	0									26
全治日数	59	7日未満	7	60	8-14	3	61	15-21	1	62	22-30	1	63	31-60	5
	64	61-90	0	65	91以上	1	66	未受診	1						19
発生状況	67	講習中	14	68	自由時間	3	69	練習中	2	70	競技中	0			19
発生時刻	71	9時まで	2	72	12時まで	8	73	15時まで	7	74	17時まで	2	75	ナイター	1
	76	その他	0												20
雪質	77	粉雪	2	78	湿雪	1	79	新雪	4	80	深雪	2	81	ザラメ	2
	82	アイスバーン	2	83	踏み固めた雪	4	84	溶けかけた雪	2	85	その他	0			19
斜面の傾斜	86	緩斜面	6	87	中斜面	9	88	急斜面	5						20
斜面の状況	89	スムーズ	9	90	ギャップ・こぶ	3	91	ラフ	4	92	深雪	3			19
ゲレンデ状況	93	混雑	2	94	普通	8	95	すいていた	10						20
ゲレンデ整備	96	良い	7	97	普通	9	98	悪い	4						20
原因	99	自己転倒	14	100	衝突	6									20
自己転倒	101	回転失敗	10	102	人・物の回避	0	103	スピード・オーバー	2	104	技術不足	0			12
衝突	105	自分から	1	106	衝突された	5									6
衝突相手	107	人	6	108	物(人以外)	0									6
相手の状況	109	講習中	3	110	自由時間	0	111	練習中	2	112	競技中	0			5
ビンディング	113	はずれた	10	114	はずれない	7									17
調節方法	115	知っていた	17	116	知らない	1									18
調整者	117	自分で	6	118	販売店	8	119	指導員	1	120	パトロール	0	121	知人・友人	0
	122	その他・不明	3												18
開放強度	123	強すぎ	0	124	適切	18	125	弱すぎ	1						19
流れ止め	126	ブレーキ	0	127	ストラップ	0	128	その他	0	129	無し	0			0

傷害事故報告集計

- 直接の受傷原因
- 事故の外的要因
- 事故の内的要因
- 傷害の内訳
- 用具と法的責任
- スキー指導における留意点

受傷原因

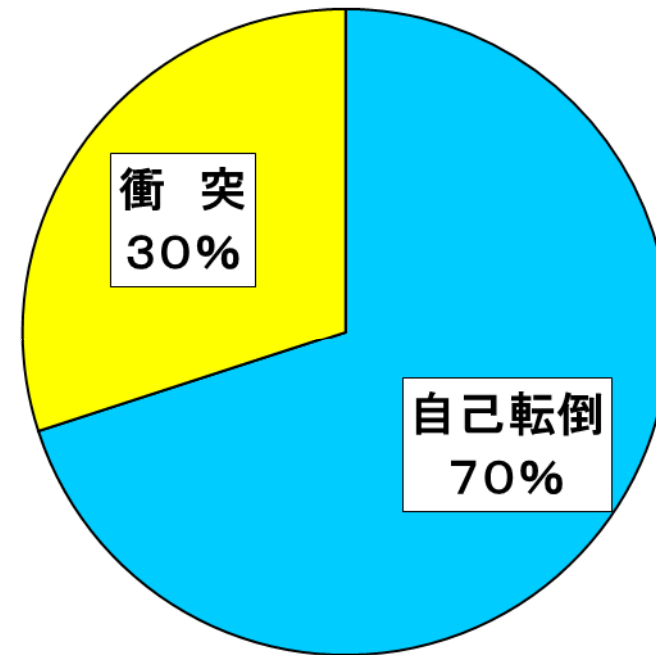
衝突事故
減少傾向から増化
自己転倒優位が続く



講習中の統計

無理のない技術指導を

受傷原因



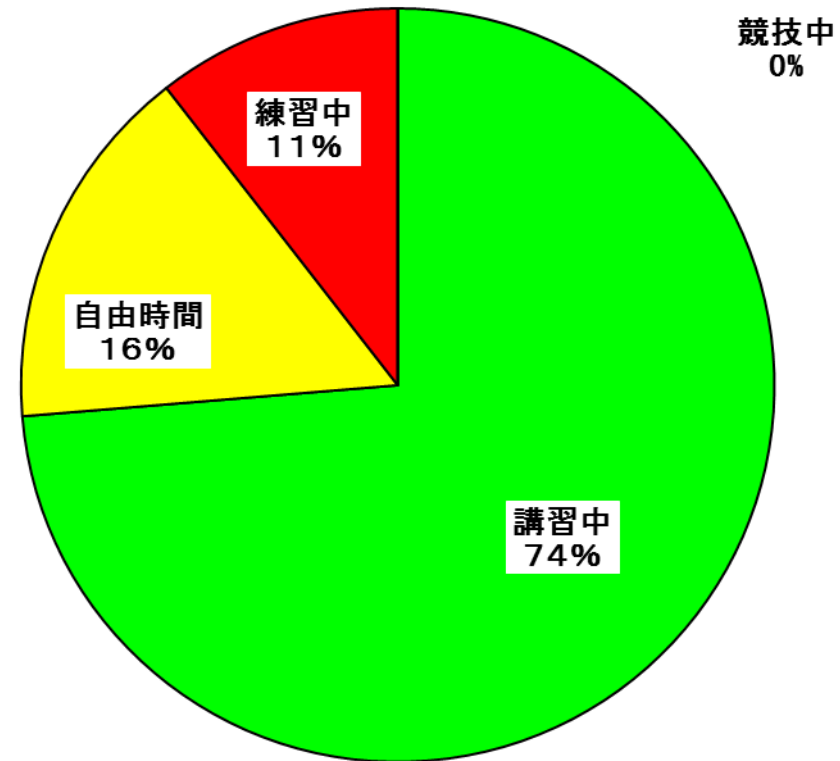
傷害発生時の状況

- ・講習中の事故が圧倒的に多い
- ・自由時間や練習中にも事故に遭遇



- ・生徒の安全確保を
- ・単独でも事故を防げる技術/安全指導も

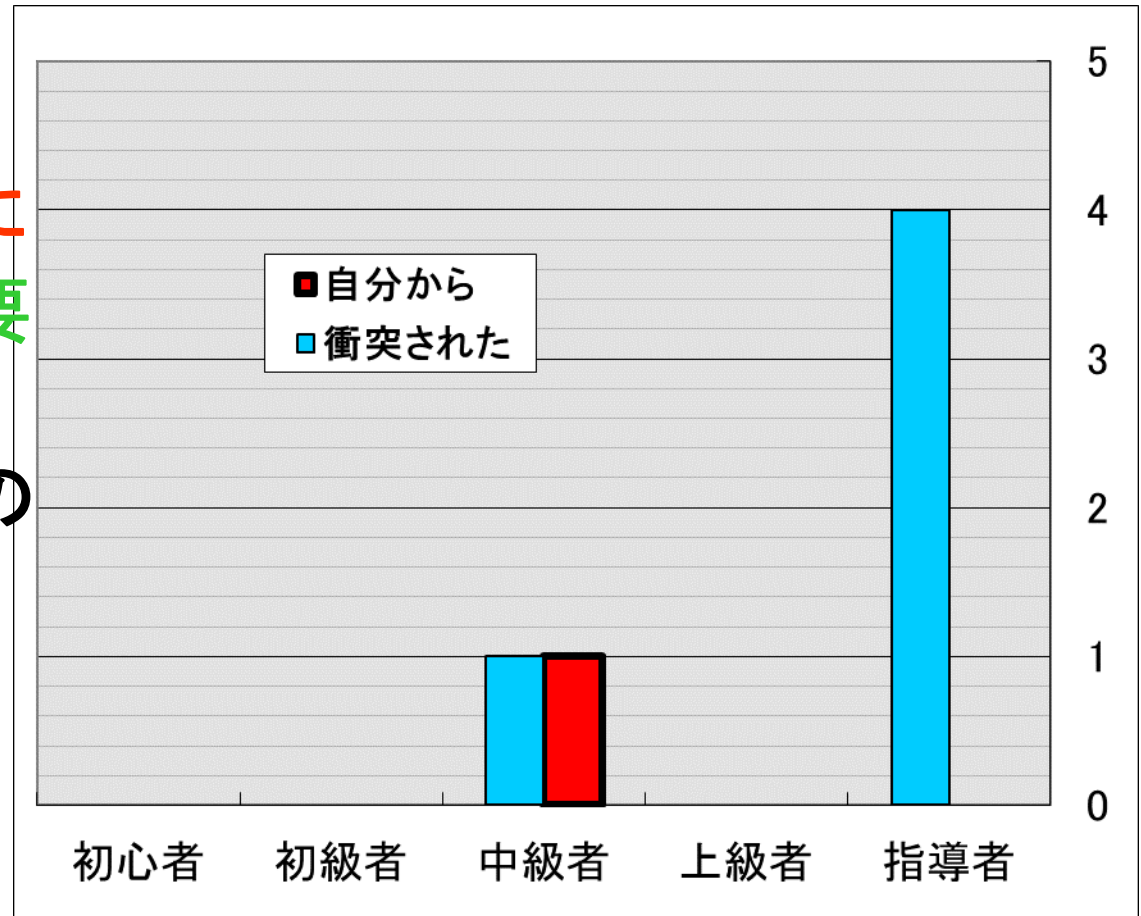
傷害発生時の状況



衝突時の状況

周囲への注意が疎かに
◎指導者の注意が重要

指導者自身の周囲への
注意不十分
◎指導方法を確認



傷害事故報告集計

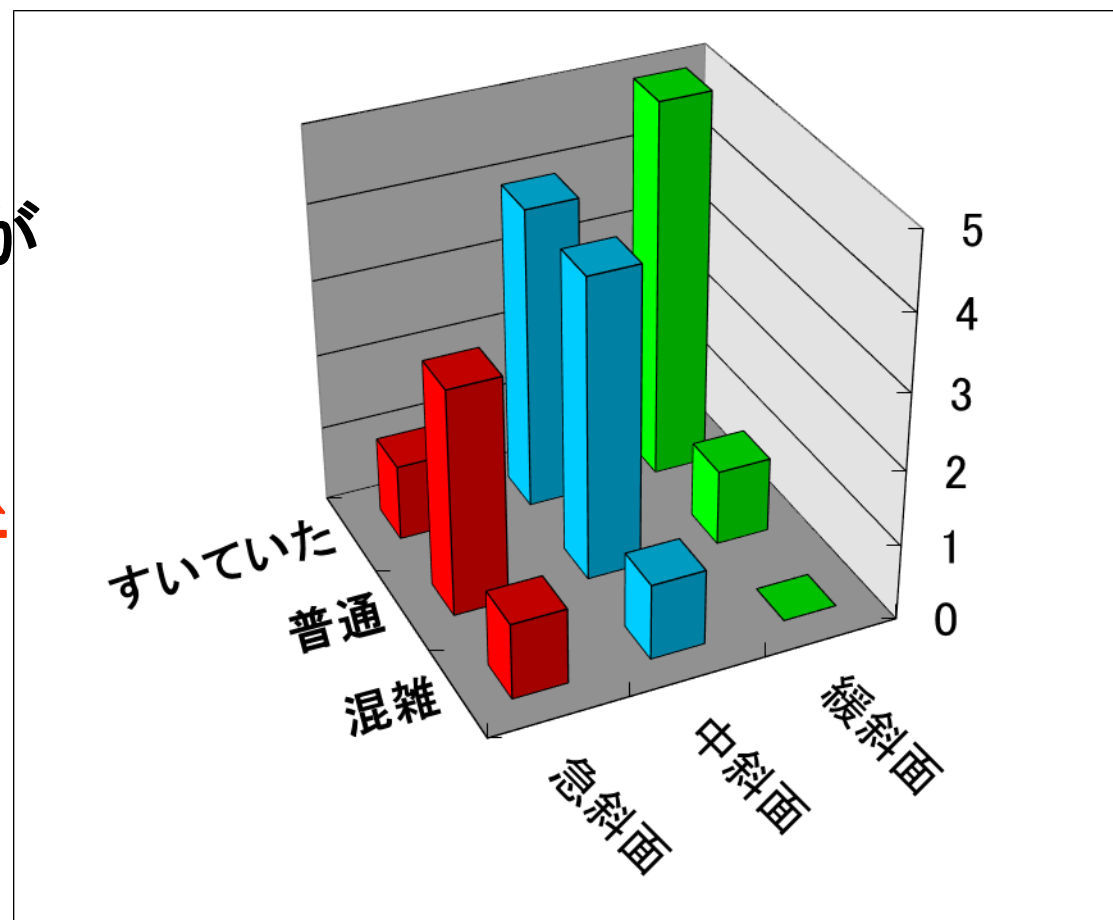
- 直接の受傷原因
- 事故の外的要因
- 事故の内的要因
- 傷害の内訳
- 用具と法的責任
- スキー指導における留意点

斜度、混雑状況と傷害度数

混雑していない
中・緩斜面で事故が多い

正しい状況判断

- ・ 課題の与え方
- ・ スタート前の安全確認



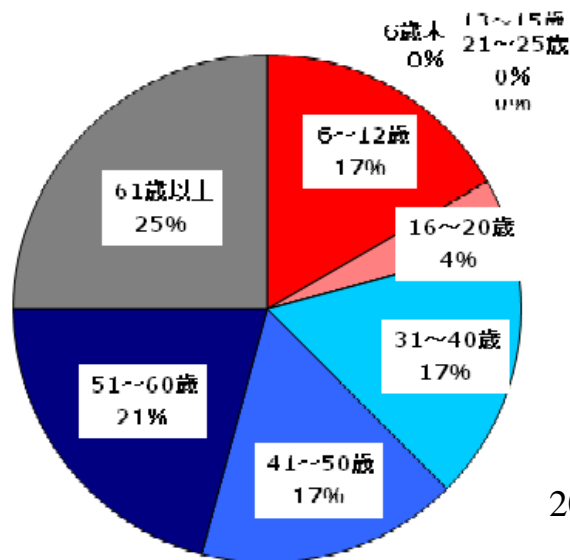
傷害事故報告集計

- 直接の受傷原因
- 事故の外的要因
- 事故の内的要因
- 傷害の内訳
- 用具と法的責任
- スキー指導における留意点

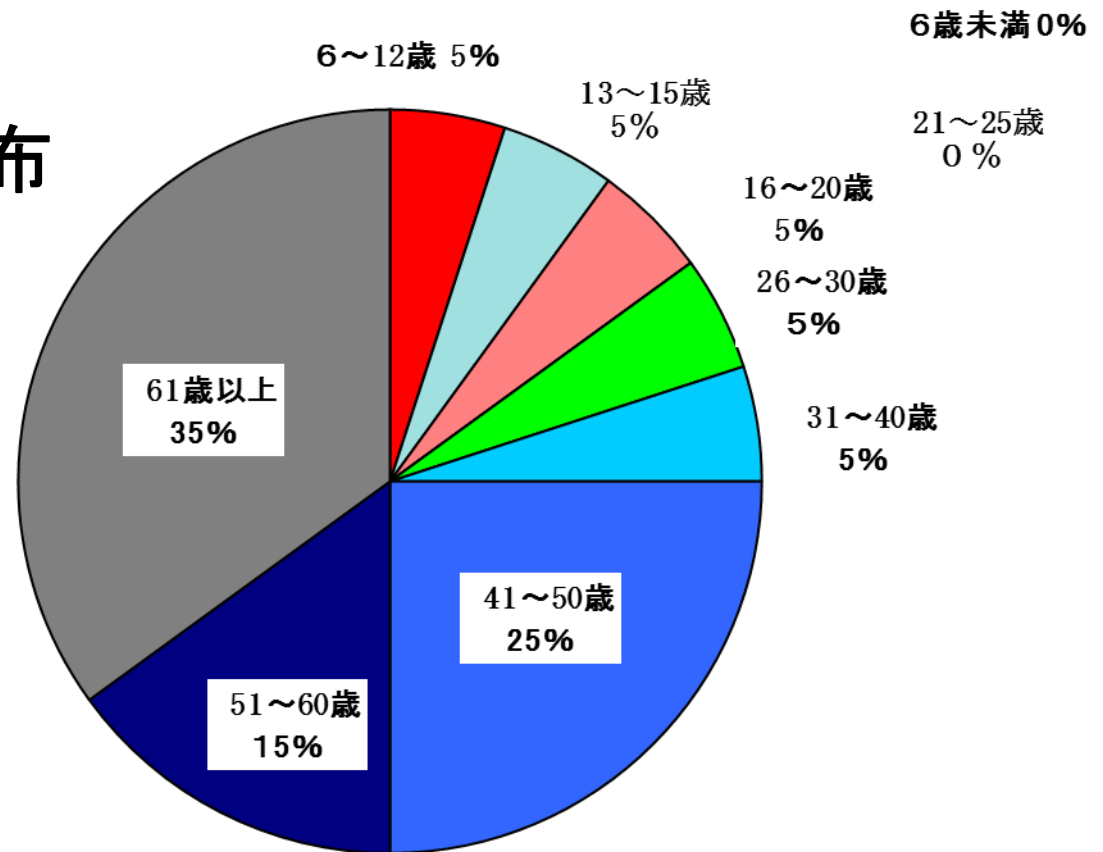
全受傷者に対する年齢層別比率

受講者の
年齢分布を反映して
40歳代から上に広く分布

40歳代が増加



2011年度



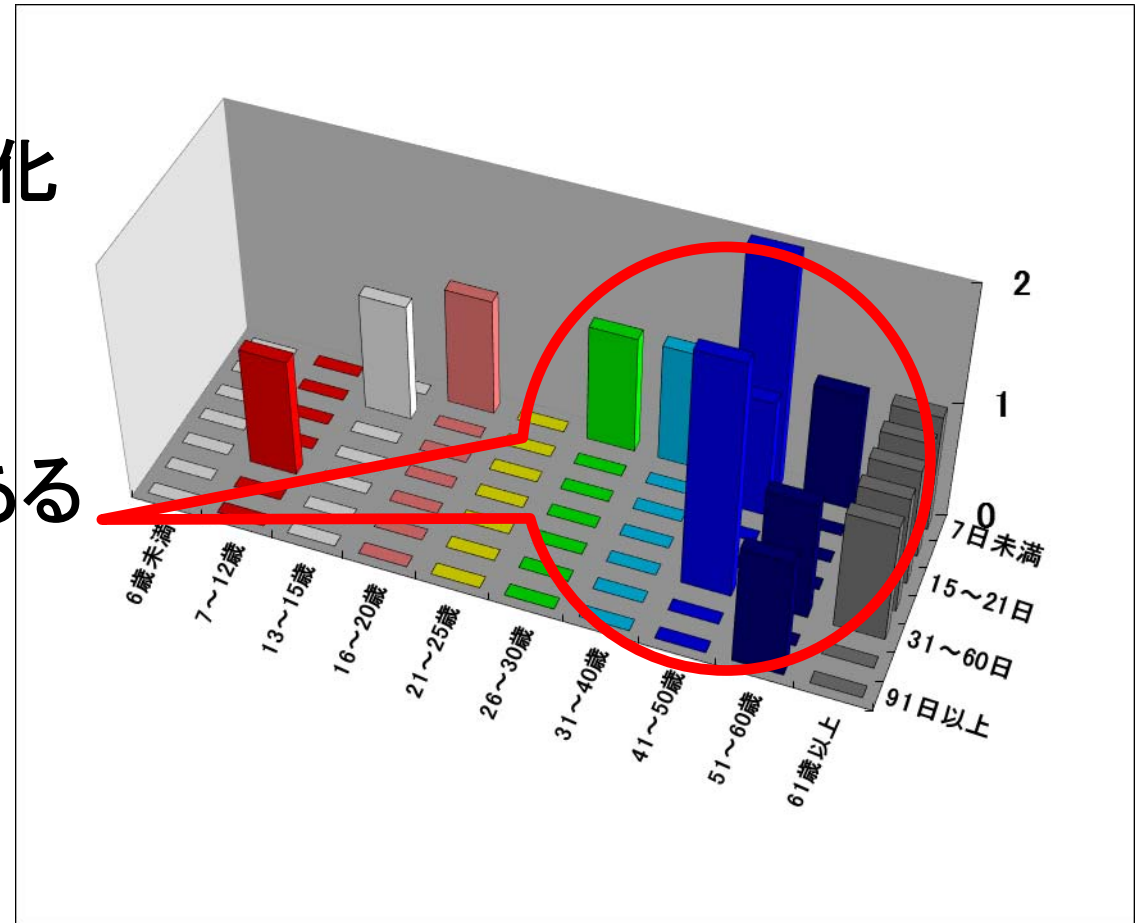
年齢と障害重度との関係

重傷と軽傷とに2極化

若年層に比較し
中高年には重症もある

運動能力・体力

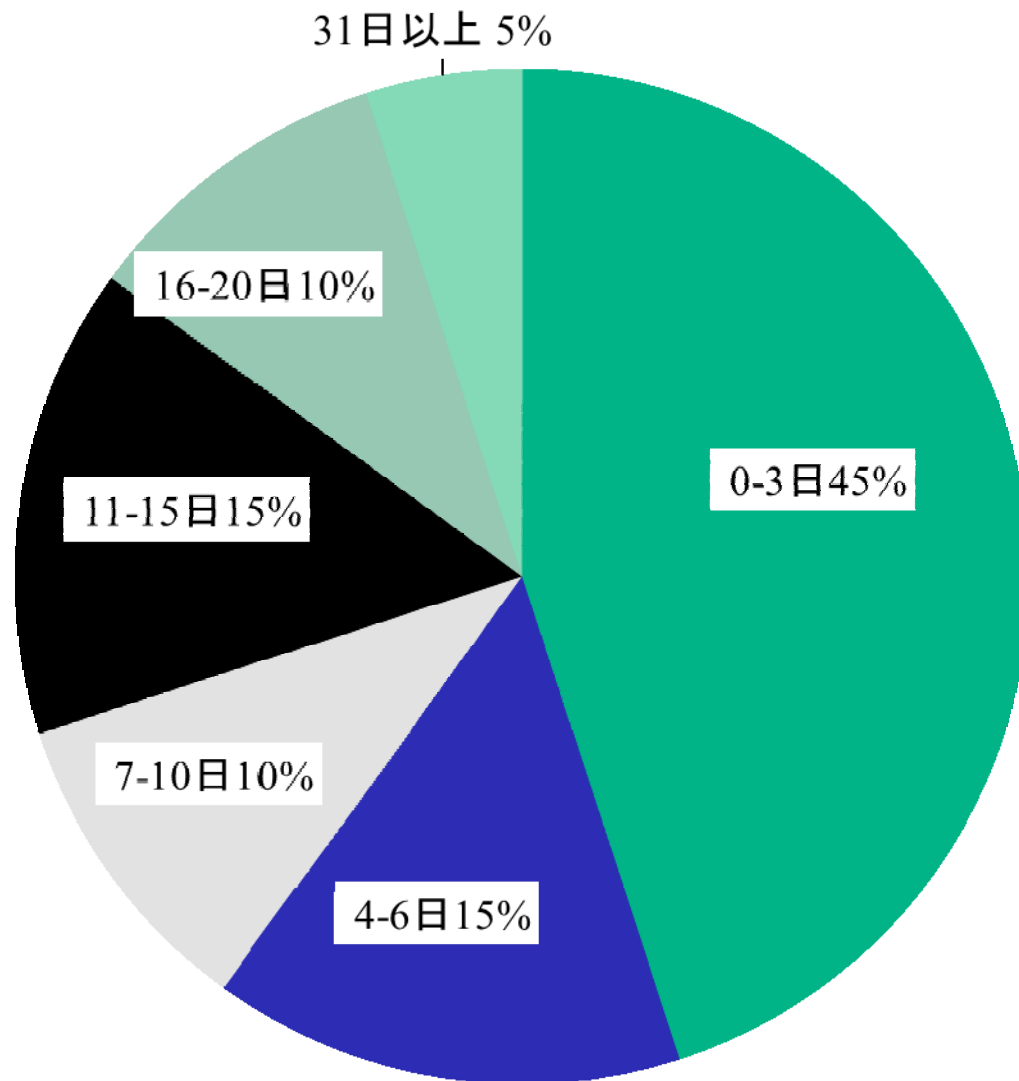
自己の意識と
実際との乖離



受傷までの滑走日数

滑走日数が
少ないほど、
傷害事故が多い

滑走感覚を思い
出すまで無理を
しない、させない
思い出しても
気を引き締めて

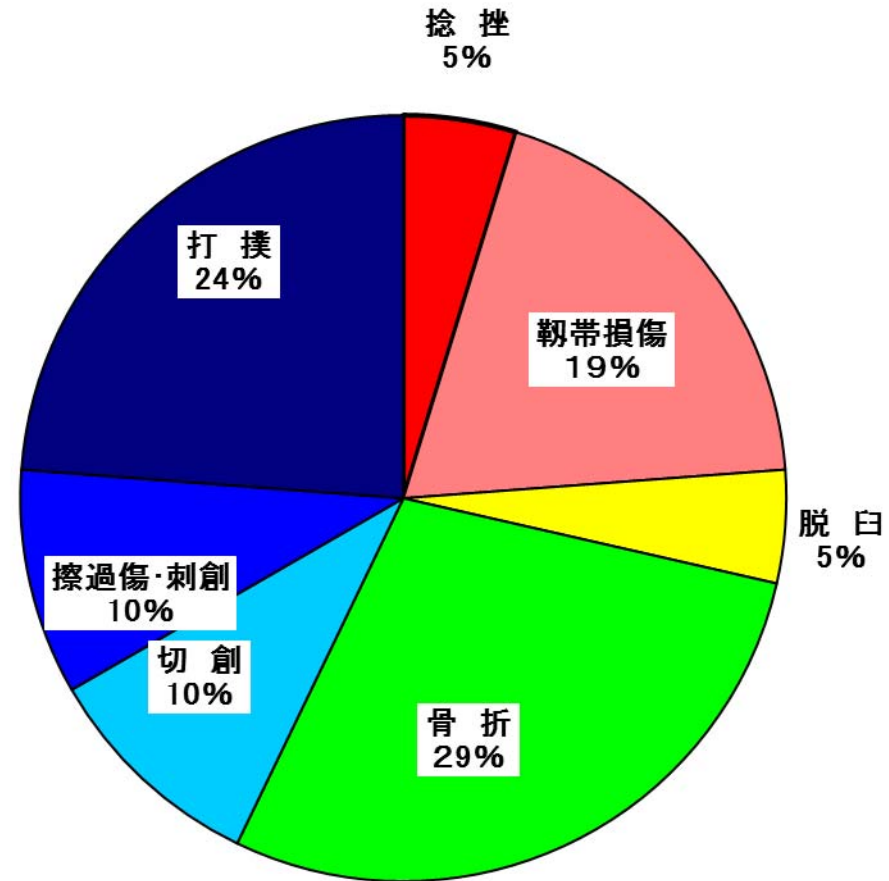


傷害事故報告集計

- 直接の受傷原因
- 事故の外的要因
- 事故の内的要因
- 傷害の内訳
- 用具と法的責任
- スキー指導における留意点

障害の種類

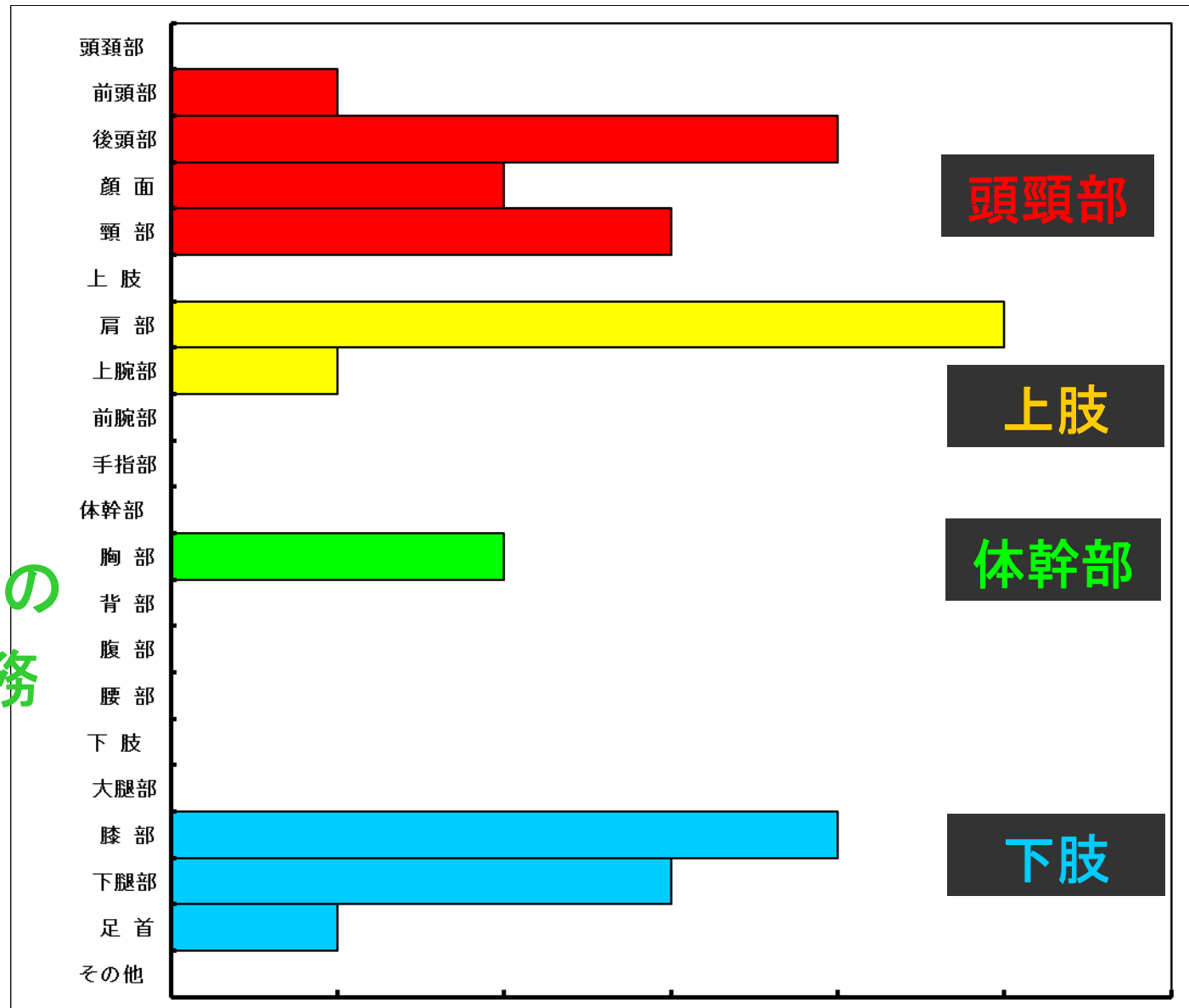
カービングスキーの普及により転倒による打撲、靭帯周囲の損傷の他骨折が多い。



受傷部位

頭部と
膝の傷害が
非常に多い

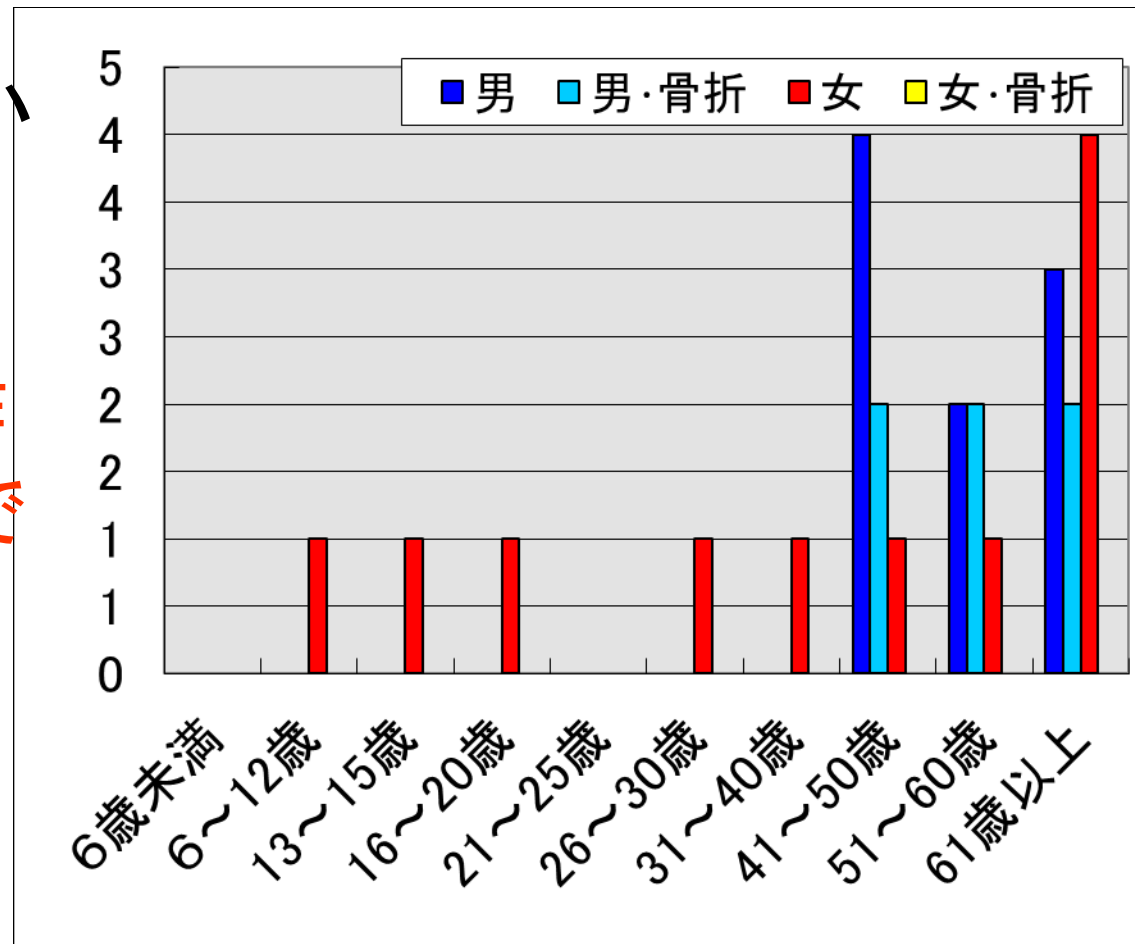
◎ヘルメットの
着用が急務



年齢別、性別の骨折の割合

傷害の性差が縮小
高齢は骨折が多い

多様なスキー操作
技術の習得過程で
傷害防止が必要



傷害事故報告集計

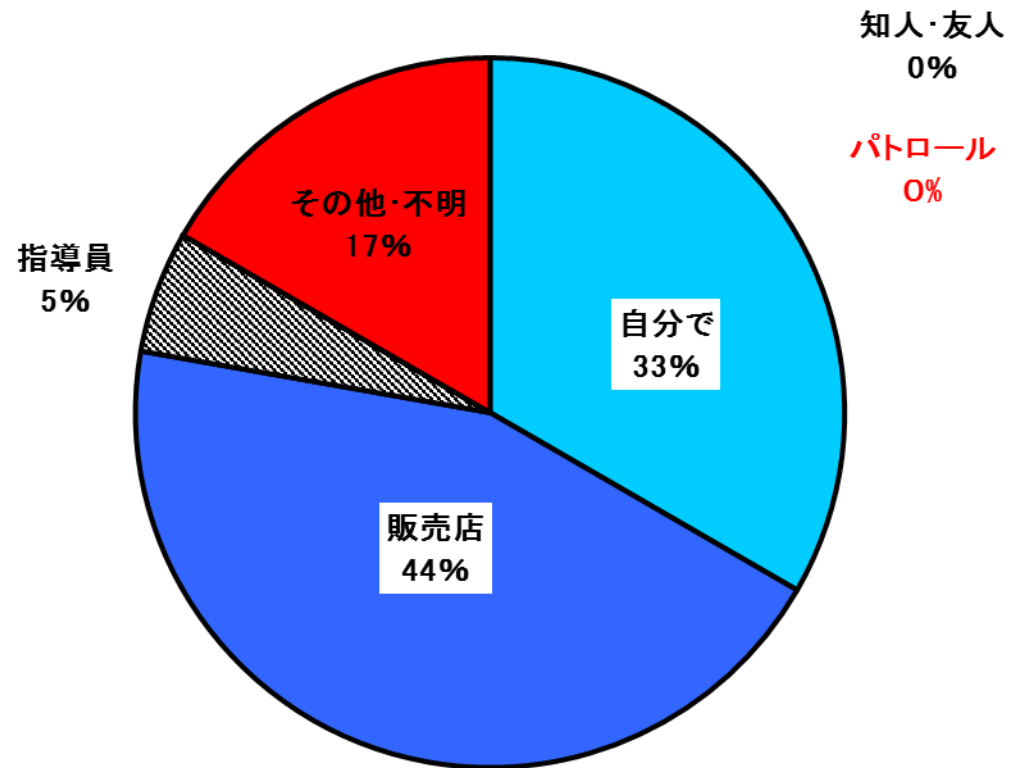
- 直接の受傷原因
- 事故の外的要因
- 事故の内的要因
- 傷害の内訳
- 用具と法的責任
- スキー指導における留意点

ビンディングの強度

強度は概ね適切

自己責任が、
浸透したが
故に、自分で
調整したケース
が増加

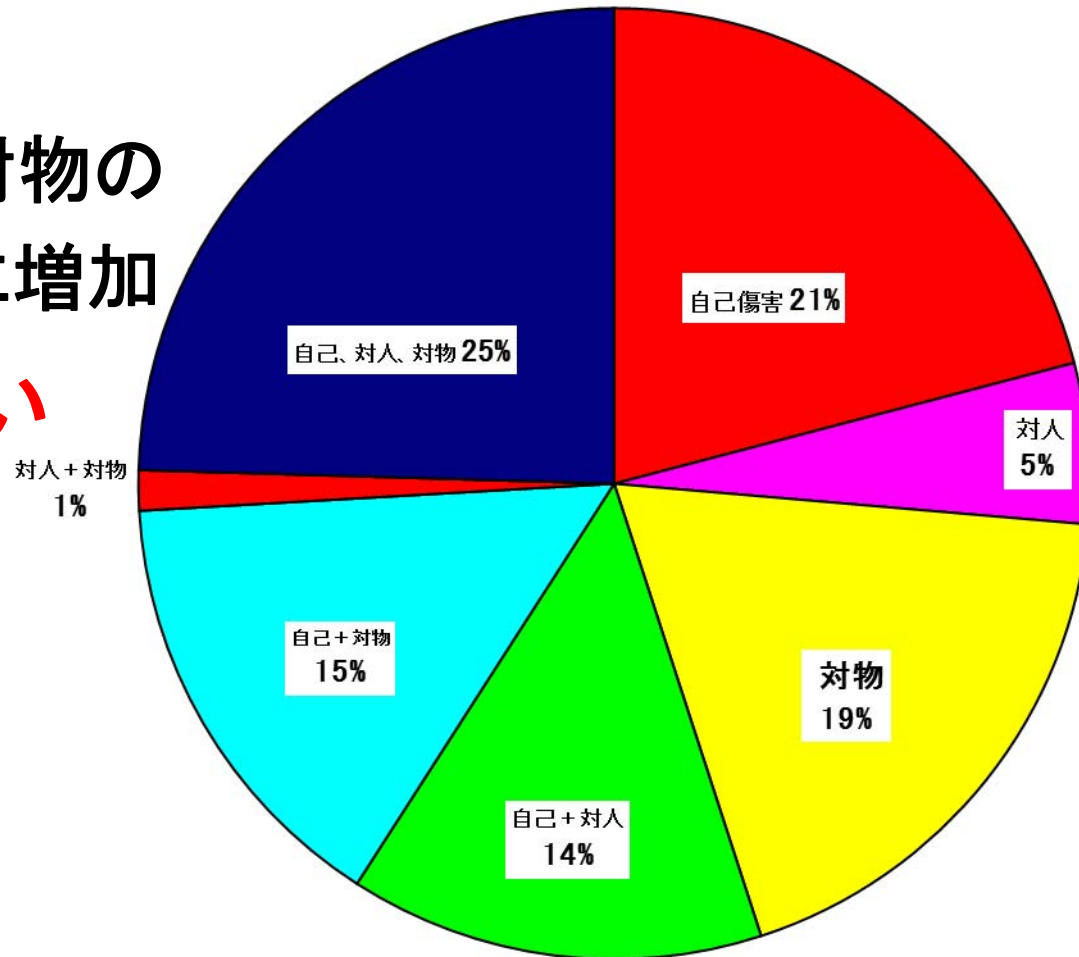
PL法については
引き続き注意喚起



傷害保険の種別

対物のみが減少
自己傷害・対人・対物の
3点セットが次第に増加

掛け金は高くない
3点セットで!!



傷害事故報告集計

- 直接の受傷原因
- 事故の外的要因
- 事故の内的要因
- 傷害の内訳
- 用具と法的責任
- スキー指導における留意点

スキー学校での配慮事項

- ・ 受講生の状況把握の重要性
- ・ 他の講習との位置関係に要配慮
- ・ 混雑していない中～緩斜面は要注意
- ・ 用具の選択、調整の指導
- ・ 適切な保険

指導者の配慮事項

- ・ 指導者はヘルメット・帽子をかぶっていますか？
- ・ 講習場所の安全に配慮していますか？
- ・ ストックを振って合図していませんか？
- ・ 講習中、生徒の技術を超えた技術を使って滑っていませんか？
- ・ 多人数を一列で滑らせていませんか？
- ・ リフトのセーフティバーの正しい使い方、ストックの安全な持ち方を指導していますか？
- ・ 各指導者は事故に対処できますか？
- ・ 事故時の連絡体制を確立してありますか？

報告書：特に重要な記入箇所

安 - 3

財団法人 東京都スキー連盟会長 殿

スキー傷害事故報告書

別紙記入要領を参照のうえ、必要事項を記入し **スキー学校報告書と共に必ず提出**

また、事故発生時は、負傷者1名につき1枚提出してください。

この報告書は、傷害防止対策の資料とします。他の目的には使用しません。

スキー学校認定番号

検定共催番号

団体番号

団体名:

実施期間：20 年 月 日（ 曜日）～20 年 月 日（ 曜日）

実施場所： 道・県 / スキー場

講習総人数： 名 講習班数： 班 / 1班平均： 名

安全対策担当者氏名： _____

Q1

傷害事故発生

有

無

→ ご協力ありがとうございました。

傷害事故発生日： 年 月 日（ 曜日） / 天候： _____

報告書：特に重要な記入箇所

傷害事故発生日： _____ 年 _____ 月 _____ 日（ _____ 曜日） / 天候： _____

Q2		Q3		Q4		Q5		
Q6		Q7		Q8				
Q9							41→	Q10
Q11							44,58→	Q12
Q13								
							死亡	
Q14		Q15		76→	Q16			
		Q17		85→	Q18			
Q19		Q20		Q21		Q22		
Q23		99→	Q24					
		100→	Q25		Q26			
				106→	Q27			
Q28		Q29		Q30		122→	Q31	
Q30		Q34					Q32	
Q35								
Q36								

ご協力ありがとうございました。